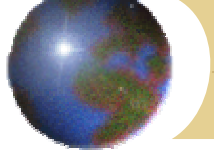




*OB・OG*  
**ゼミ発表**

**京都メカニズム班**

**椎木・前田・大嶋・稲益・宇田川**



# 発表の流れ

京都メカニズムの基本的な説明

京都メカニズム活用の現状

国内の京都メカニズムと検討状況

今後の方針について

# JIとは？

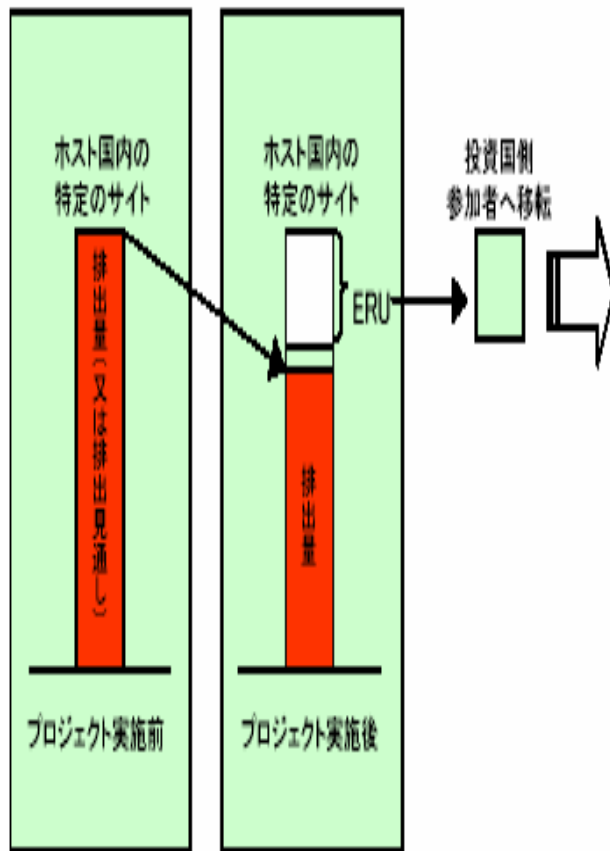
## JI (Joint Implementation) 共同実施

温室効果ガスの数値目標が設定されている先進国(附属書 国)同士のプロジェクト

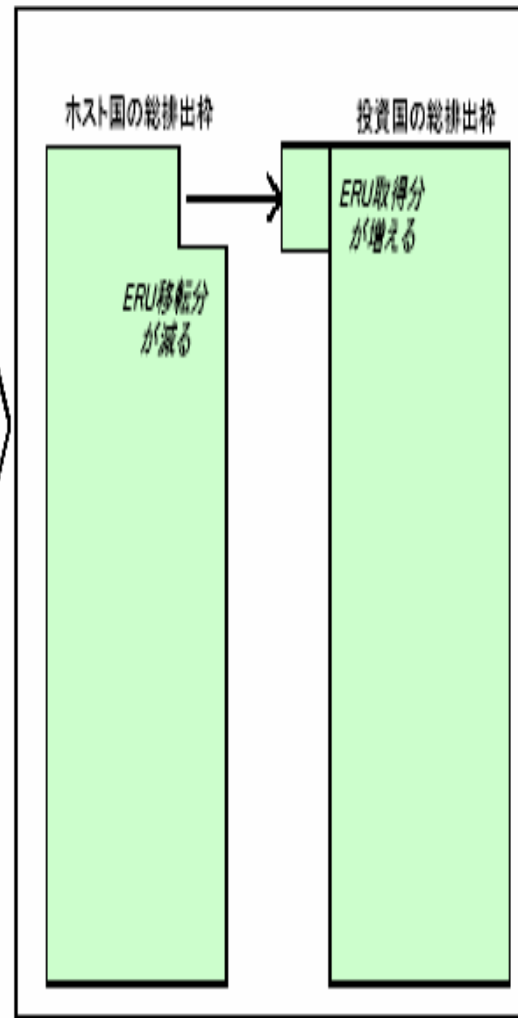
## ERU (Emission Reduction Unit) 共同実施で発行されるクレジット

結果として先進国内での排出枠の取得・移転になるため、先進国全体の総排出枠の量は変わらない。

ホスト国(先進国)の総排出枠    ホスト国(先進国)の総排出枠



ホスト国・投資国(共に先進国)の総排出枠の合計は変わらない



# CDMとは？

CDM (Clean Development Mechanism) - クリーン開発メカニズム

先進国が協力して数値目標が設定されていない途上国内でのプロジェクト

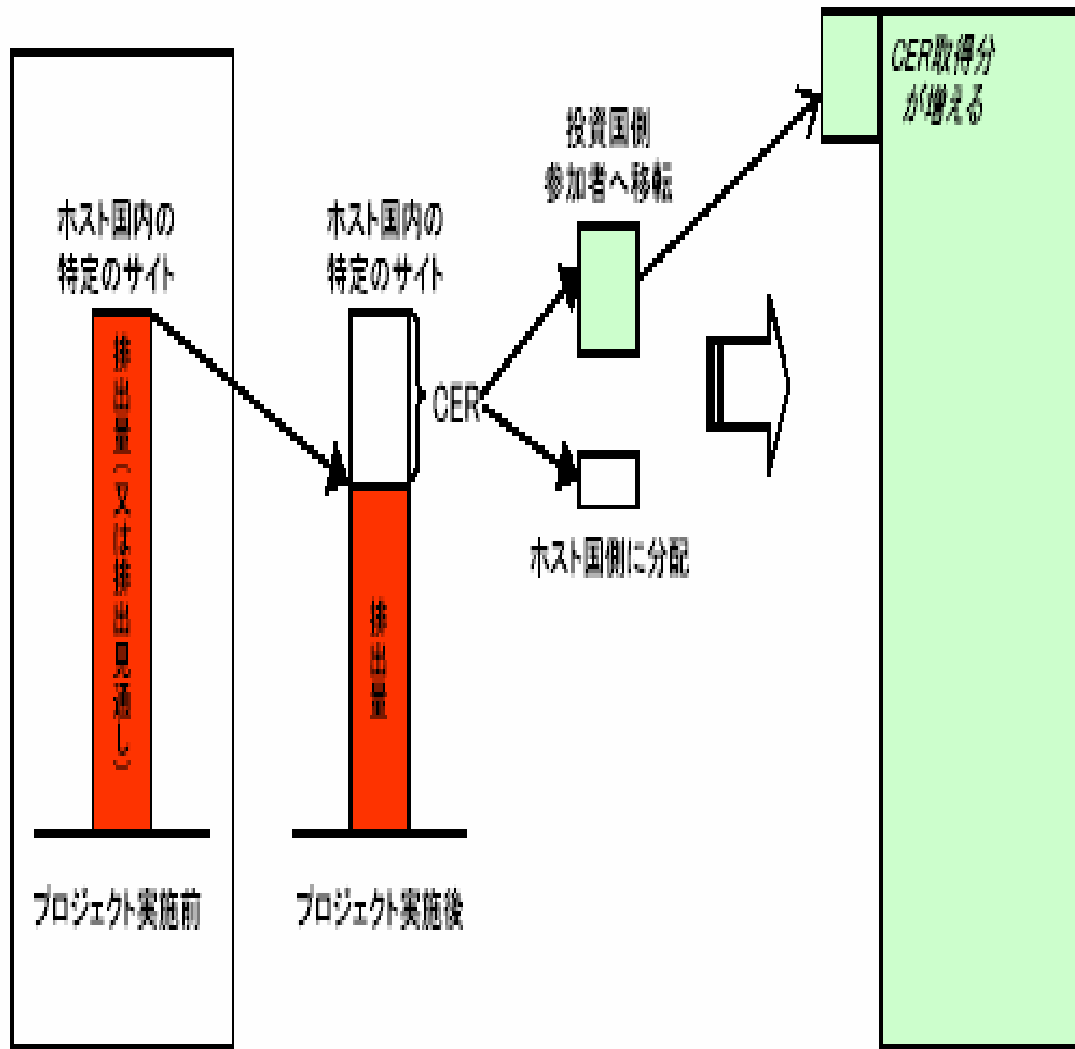
CER (Certified Emission Reduction) - CDMで発行されるクレジット

CERをプロジェクトに参加した先進国とホスト国で分け合う  
先進国の総排出枠の量は増大する

クレジット発行に際しての審査は厳格

ホスト国(途上国)には総排出枠がない

投資国(先進国)の総排



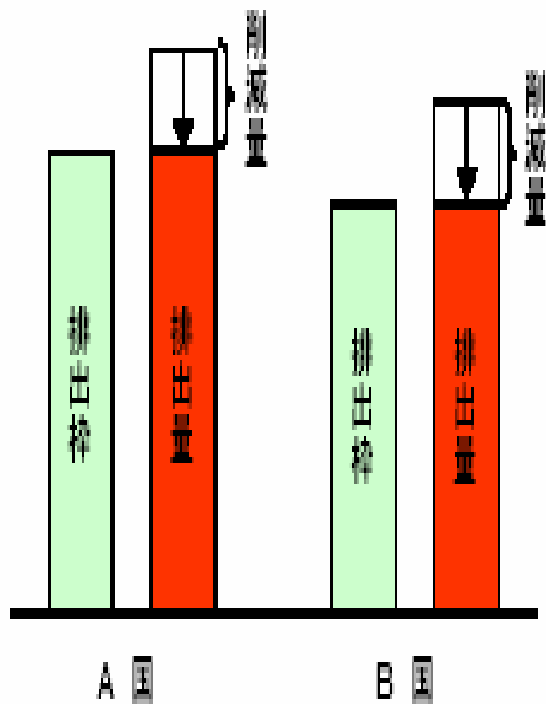
# 排出量取引とは？

先進国間で排出枠の取得、取引を認めるもの  
市場メカニズムにより、  
より少ない費用で削減できるようになる

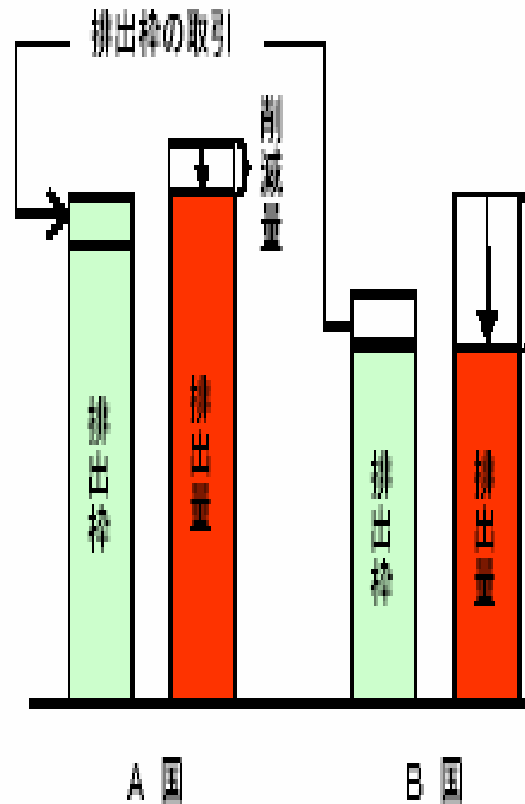
## 国としての排出枠

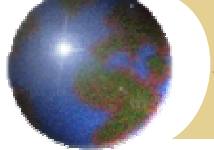
AAU (Assigned Amount Unit) 割当量単位  
+  
RMU (Removal Unit) - シンク、森林など  
+  
CER、ERU

排出量取引がない場合



排出量取引がある場合





# 京都メカニズム活用の現状

## ・排出権取引

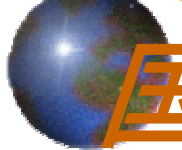
EUは加盟国による市場を2005年に開始予定  
デンマーク(2001年) 英国(2002年)は施行

## ・共同実施

2002年12月、経済産業省はNEDOがカザフタンで導入するコジェネ  
設備導入事業をJ事業として承認

## ・CDM

第九回CDM理事会に申請された15件のうち、承認されたものは無  
かった。



# 国内における京都メカニズム

## ❖ 新大綱(2002.3)で1.6% (年間2000万トンのGHG) の削減目標

議定書目標達成の内訳(新大綱とそれ以前の比較)

内訳	新大綱	新大綱以前
エネルギー起源 CO2	±0.0%	±0.0%
メタン等	- 0.5%	- 0.5%
技術革新等	- 2.0%	- 2.0%
HFC, PFC, SF6	+2.0%	+2.0%
吸収源	- 3.9%	- 3.7%
(京都メカニズム) 1	- 1.6%	- 1.8%
合計	- 6.0%	- 6.0%

出典: 温暖化対策としてのクリーン開発メカニズムをめぐる国際情勢と日本の対応 山口光恒、2002.7



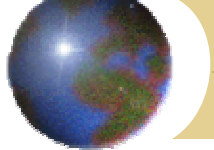
# 国内制度の検討状況

年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008～2012年
ステップ	第1ステップから講じる施策			第2ステップから講じる施策			第3ステップ (第1約束期間)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ CDM事業の実施及び CDM事業によるクレジットの発生(2000年以降)並びに JI事業の実施</li> <li>○ 国別登録簿の整備、CDM・JI事業の実施に必要な制度の整備等</li> </ul>			本格的な活用に備えた国内制度の検討及び整備			本格的な活用のための国内制度の実施
京都メカニズムの活用							

(地球温暖化対策推進大綱)

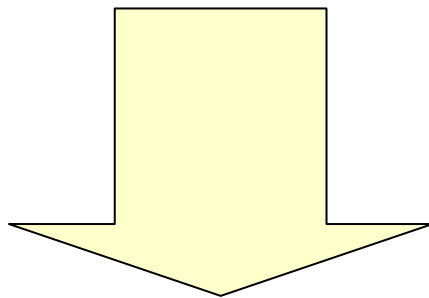
現在、経済産業省産業構造審議会「市場メカニズム委員会」(2002年3月～)、環境省「京都メカニズムに関する検討委員会」(2002年4月～)にて国内制度の検討が始まる。





# 今後の方針

日本が京都議定書の目標を達成に向けて、年間二千万トンものGHGを京都メカニズムにより削減する為には民間事業者の積極的な参加が不可欠。



- 「民間事業者から見た京都メカニズムの障壁とリスク」という視点から更に研究を深めていく